

2011年6月23日(木) Alicante 晴れ

今日は午前中に船を移動する予定だ。船内で待っていたが、連絡が来ないのでオフィスに訊きに行くと、移動は午後になったので2時迄に船に戻れば良いとのことだったので港の前に聳え立つサンタ・バーバラ城見学に行く。16世紀に建てられた比較的新しい城だ。上から見る眺望は素晴らしく地中海を一望する。

その後、中央市場に行くが大きな市場で1階は魚介類と青果類、2階は肉類と分けてあった。南スペインは、ヨーロッパの野菜、果物の台所だけあって新鮮で安い。野菜はズッキーニ、トマト、マッシュルーム、レタスとジャガイモ、果物はリンゴ、オレンジを買う。嬉しいことに日本の半分近い値段だ。

お昼は、昨日の残りのラタトイユをカレー味にして食べる。ビールとワインで心地良くなりコックピットの日陰で昼寝をしてしまう。まだ船の移動の連絡来ないので再度確認にいったら、移動しないでこのままの場所で良いとのことだった。

7時からの闘牛見物を予約してあったので、シャワーを浴びてサッパリさせてから歩いて行く。マリーナは町のほぼ中心街にあるので便利だ。ヨット旅行のいいところのひとつはトランクを持たないで旅行できることだ。初めて闘牛を見るので興奮気味で場内に入る。ファンファーレとともに始まる。牛が勢いよく扉から飛び出てきて闘牛士がカボーテ(赤い布)で牛を走らせる。牛は盲目で赤に引かれるのでなくヒラヒラに反応するようだ。

この時の牛の動きで牛の強さが判る気がする。ヘミングウェイがなりたかったというピカドールが馬に跨り牛の背中に槍を突く。牛の角が馬のお腹を突くが馬は防御してあるので怪我はしないが、必死に牛の押しに耐える。昔は馬の防御がなく馬が度々死んだそうだ。バンデリジェーロが牛の背中に槍を数本刺す。最後にマタドールが華麗なる演技で牛を自分に寄せて牛との対決を見せる。最後に一気に剣を一突きして牛を昇天さす。マタドールの出来栄が良いと白いハンケチを観衆が振り、盛り上がる。最後にマタドールの演技が良いと牛の耳を切り観客に投げる。

初めての経験をしたが、スペイン人の熱気を感じ取ることができた。

丁度19~24日まで、夏至を祝うサン・ファン祭りで街は大賑わい。色々な催しをあちこちでやっている。

9時に闘牛が終わり、帰り道のメイン通りでは両サイドびっしりの人垣でパレードの通過を待っていた。祭りは夜通し続くそうだ。流石に今晚は肉は食べる気はしなかったのでカレーライスを頂く。



2011年6月24日(金) Alicante 曇り

今日はANA時代の後輩の井本美子さん、国友美奈子さんが乗船する日なので午前中に昨日行った中央市場に買出しに行ったがお祭りのため休みだった。

仕方なくスーパーマーケットで買出しを済ます。彼女達が空港からマリーナに着いた電話があり迎えに行くがマリーナ自体が広く何回か電話のやり取りをしてやっと逢うことができた。

お昼は、船で彼女達の歓迎をイペリコハムとレタス、グリーンマトとアンチョビ、ケソ・テチージャを用意してカバで乾杯する。彼女達は、長旅の疲れもみせず昼食をした後、皆で街の見学に行く。

今日も闘牛を開催していたので彼女達に良い機会なので観るように勧め、観に行った。彼女達も初めての闘牛で充分楽しんだようだ。彼女達の気持を察して夕食は鶏肉にした。

2011年6月25日(土) 1035/1630 快晴 Alicante~Altea 東北東4~6m

昨晩は遅かったのと一昨日出したシーツのクリーニングを取りに行くため、ゆっくり出港した。東北東の4~5M位の良い風だが今日は北東の進路なので上りになってしまう。CAVOK は、上り角度は悪いがチョット上り角度を落とすだけでスピードがぐんと上がる。6~7KTで気持良く走る。クローズでは7M位まではフルセールでオーバーヒールしないで快調に走る。7M超えるとリーフするがヒールが抑えられ快適にセーリングが出来る。

夕飯はズッキーニの詰め物とガーリックポテト(ポテトが美味しい)とステーキを食べる。

アルテアはアルカンテと違い静かなマリーナで近くに岩山がそそり立ち景観も良く気に入った。

2011年6月26日(日) Altea

午前中に、旧市街地とそこにあるカテドラルを観光しに行く。小高い丘の頂上に屋根が青と白のタイルで飾られたカテドラルを中心に漆喰の壁の家が狭い路地を挟んで立っている。路地は日陰になり、また風の通りが良く気持ち良い。丁度お祭りのようで民族衣装を着飾った人達を見ることができた。ここから見る地中海の色は格別であった。

丘の広場のテラスで、女性達は口ゼを私はビールを飲んで喉の渇きをとる。

お昼は船に戻り、井本さんが運んでくれたソーメンを氷で冷やしてトマトとツナ缶で食べる。海にソーメンはあう。

女性陣はお昼寝、私は日課になった海水浴に行く。

夕食は、茹で海老とサラダ、メインは皮付きポークのトマト煮込み、デザートはアップルケーキと私の得意な特製カフェ・コンラチェだった。

2011年6月27日(月) 1000/1100/1350 快晴 東北東4~6m Altea~Greenwich~Moraira 16 NM

今日のレグは短いので東経0度にあるMarina Greenwichに寄って行く。ここから3NMの距離なので直ぐだ。記念の寄港なので軽油だけ補給する。100L補給したが計算したら燃費は1時間当たり2.6Lで燃費が良い。

給油後、マリーナ・グリニッチを出港して東経、西経経度0度を通過する。モレイラに入港する前に近くの入江でアンカーリングして泳ぐ。水がきれい10Mの底まできれいに見える。数隻の船も楽しんでた。入江の周りの岩の上には瀟洒な別荘が立並んでいた。

お昼は、コバルトブルーの海の上で茹でた海老、生ハム、黒トマト、各種チーズとパテをパンで頂く。モレイラはビジターパスがないということで心配していたが、スタッフがすぐ来てくれ岸壁に横づけできた。ここがビジターパスで、各艇が横づけしていた。こじんまりして水がきれいなハーバーで景観も素晴らしい。

入港してから町を散策してスーパーで買物をする。夕食はイベリコハムを前菜にローストチキンがメインメニューで楽しむ。星空がきれいだったので、食後、マリーナの岸壁に皆で上がり空一面に広がる星空を眺める。ここも皆さんが気に入ったマリーナだった。

2011年6月28日(火) 1040/1410 快晴 Moraira~Denia 16NM 東南東4~5m

朝食でトーストを焼こうとしたら電源入らず、調べたら外部電源が接続されていなかった。船のトラブルかと思ひ、サーキット等調べたら異常なし。オフィスに聞きに行ったら8時から10時まで停電とのこと、船のトラブルでなくほっとする。今日もレグが短いのでゆっくりと1040に出港する。暫くは風弱く機走したが、1時間過ぎに東南東の風が4~5M吹出したのでセールを揚げる。真追手なので、観音開きで5~6KTで青い空、アズールカラーの海、陸側は岩壁の上に瀟洒な別荘が立並ぶ光景を見ながら気持ちよく走る。



デニアのマリーナは直ぐ近くにアルプスを思い起こすような山がそびえ立ち、海とのコントラストが素晴らしい。此处も歴史のある町で紀元前はギリシャの植民地でもあった。

お昼は、稲庭うどんを冷やして生姜を入れた麺つゆで頂く。冷やしたうどん、ソーメンは何処の海で食べても美味しい。

食後、11世紀に出来たお城跡に登る。小高い丘の上にあるお城から地中海を見下ろす。

大変暑い日だったので帰りにビールを飲む。タパスが美味しそうだったので鰯の酢漬、ムール貝の酢漬、ツナのカルパッチョ、オリーブを食べる。船に戻ってから汗を流しにシャワーに行き帰りにマリーナのバーでマルガリータ、ビールでシャワー上がりの喉の渴きを癒す。明日5日間一緒した井本さん、国友さんがアリカンテ経由で帰るので、マリーナのショップでアリカンテまでの電車の時間を調べていたらショップの方が親切でタクシーで85ユーロでアリカンテの空港まで行けるということなのでこれ幸いとお願ひする。電車で行くと乗換え含めて3時間はかかるところを高速道路で1時間で行けるので荷物ある彼女達は助かった。

夜は井本さん、国友さんの最後の晩なのだが、昼間の冷やし稲庭とパルスが効いたのイベリコハム、ソーセージ、ピーマンの肉詰め軽い晩餐にしてカバで乾杯する。

2011年6月29日(水) 快晴 Denia

10時30分にマリーナのゲートにタクシーが来るので井本さん、国友さんは旅行鞆に荷物をパックして帰りの準備をする。タクシーの運転手が英語が判らないというのでショップの女性がわざわざタクシーの来るところまで来てくれ、運転手に先行の説明を再度してくれた。今航海では、沢山の人の親切を受けている。

お昼は稲庭うどん二人分残っていたので食べる。サッパリしてとっても美味しい。

隣に係留してあったオランダ艇が、トーレピエフに戻るため離岸する。夏は地中海暑いので7、8月は避暑のため、トーレピエフに船を置いてオランダに帰るそうだ。昨年、オランダで7月を過ごしたが確かに快適だ。夫婦2人のこの船は同じ経路で航海していたので数ヶ所一緒になった。親切に舳いも取ってくれたりした。

9月以降の地中海での再会を楽しみにしている。

インターネットはWifiを使っていたがバレアレス諸島に行くと係留料が高くなる(Formenteraで270ユーロ/日)のと、アンカリングに適した錨地があり、アンカリングで楽しもうと思っているのでWifiが使えないケースが多くなるのでプリペイドタイプのモデムUSBを午後購入しに行く。これでWifi無しで電話でインターネットが出来るようになった。

SIMカードで一日3.5ユーロと1ヶ月35ユーロの選択があったので1ヶ月35ユーロのにした。

無料のWifiもあるがこれなら電話が通じればどこでも出来るので便利でトータルでは安くなる。



悦子と2人だけになったので夜はラタイユと残り物を整理して白ワインを空ける。

2011年6月30日(木) 晴れ Denia

マリーナの近くに標高753MのDenia Montgoが聳えていて素晴らしい景観なのでタクシーで車の行けるところ迄行き、遊歩道を海と岩壁の岩肌を見ながら約3時間歩く。さらに車道を一時間程下り途中レストランがあったので昼食とする。お昼のランチ定食がありスターター、メイン・デイシュ、デザートがついて9.5ユーロ。味も美味しくまずはビールで喉を潤し、それぞれ赤、白のグラスワインを呑む。此处からタクシーを頼み、船に戻る。19000歩歩いた。

船で休んだ後、頼んでおいたガスボンベ、シーツの洗濯物を取りに行く。これも親切なショップの人が手配してくれた。

ほてった身体を海水浴場で冷やし、シャワーを浴びるがサッパリして気持が良い。

明日の風の予報は東風で真向かいになるので、2日早朝にここを出て当初の予定地を変更して此处デニアから一番近いサン・アントニオに変更した。E-mailで停泊のリクエストをした。12日に日比谷夫妻がマヨルカ島パルマに来るので万全の準備をして置く。

お昼でもスターター、メインディッシュ、デザートと食べるとお腹が一杯で9時なってもお腹が空かずハム、昨日のラタトイユで済みます。

以上